

フードバンクちば事務所(兼 倉庫)移転のお知らせ

この度、甚だ急ではありますが、フードバンクちばは下記住所へ移転する運びとなりました。移転にともない、電話番号および FAX 番号も変更となりますので、お知らせいたします。サポート事業を含め約8年間もの間、活動の拠点だった西千葉の事務所では数多くの方々に出会い、たくさんの方を学び、本当にたくさん助けていただきました。この場を借りてお世話になった皆さまにお礼を申し上げます。ありがとうございました。また移転に際し、ご尽力いただいた皆さま、場所が変わったにも関わらず、ボランティアを続けてくださっている皆さまには感謝しかありません。そういった方々に支えられて今まで続けてこれたのだとつくづく感じています。新しい場所でもこれまでのノウハウを生かして日々精進していく所存です。フードバンクちばの活動を維持していくためには、人(運営・ボランティア)・場所(広い場所)・お金(財政)の3つが課題でした。今回の移転で場所の問題はひとまず解決できそうです。まだまだ課題は満載ですが、引き続き、フードバンクちばにご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

新住所: **千葉市中央区弁天2丁目16-14
大野マンション101**

JR 千葉駅「千葉公園口」より徒歩8分

電話番号: **043-301-4025** FAX 番号: **043-301-4026**

※ 個人支援申請に際し、番号が変わりますのでご注意ください。

※ なお、これまでの電話番号(043-375-6804)も当面の間は利用可能です。



フードバンクちば通信

Vol.22

2019年
8月発行

新しい住所と連絡先

千葉市中央区弁天2丁目16-14
(JR 千葉駅「千葉公園口」より徒歩8分)

電話番号 043-301-4025
FAX 番号 043-301-4026

※ 移転の詳細は裏面をご覧ください。

フードバンクちばは移転しました。
9月から新しい場所で本格的にスタートします!

余ってませんか。もったいない食品大募集中!!

【ご家庭から】

家庭で余っている食品(保存可能な物)を募集しています。

寄付いただきたい食品

- 穀類(お米、麺類、小麦等)
- 保存食品(缶詰、瓶詰等)
- 乾物(のり・豆など)
- インスタント食品・レトルト食品
- 調味料各種、食用油
- ギフトパック(お歳暮・お中元等)
- 飲料(ジュース・コーヒー・お茶等)
- 菓子類

【企業等から】

包材の破損や賞味期限間近などにより、廃棄する予定の食品(賞味期限1カ月以上)等がございましたら、ぜひご寄贈ください。条件等は別途ご相談ください。



個人支援に利用させていただいている食品の一例

「フードバンクちばサポート会」入会のご案内

入会をご希望の方は、別途、入会申込書に必要事項を記入し、フードバンクちば宛に郵送または FAX いただき、会費をご入金いただければ手続きは完了です。または郵便局の振込用紙の備考欄にお名前と連絡先を明記し、会費を下記口座にご入金ください。

- 会費
個人サポート会員: 1口2,000円/年(1口以上)
法人・団体サポート会員: 1口10,000円/年(1口以上)
- 会費納入先
● 郵便振替口座
口座番号: 00160-8-486977
口座名義: フードバンクちばサポート会
- ゆうちょ以外からの振込先
銀行名: ゆうちょ銀行
種別: 当座 支店名: ○一九店
口座番号: 0486977
口座名義: フードバンクちばサポート会

<ご寄付のお願い>

フードバンクちばでは、皆様のご寄付や協賛金を受け付けております。ご協力には下記郵便振替口座をご利用下さい。

- 郵便振替口座
口座番号: 00150-2-652117 口座名義: フードバンクちば

お問い合わせ

ボランティア活動に参加してみたいという方を随時募集しています。またフードバンク活動についての詳細などお気軽にお問い合わせください。

☎ **043-301-4025** 平日10:00~17:00

☎ **043-301-4026**

※ スタッフ不在の場合は留守番電話にメッセージをお伝えください。

✉ **fbchiba@jigyoudan.com**

💻 **http://foodbank-chiba.com**

ブログ: **fbchiba.ko-me.com**

フードバンクちば

〒260-0045
千葉市中央区弁天2丁目16-14
大野マンション101



CONTENTS

- ① 第21・22回フードドライブにご協力いただきありがとうございました。
- ② 食品ロス削減の推進に関する法律案が成立しました。
- ③ フードバンクちば7周年イベント「みんなで考えよう、フードバンクちばのこれから」
- ④ 各方面のイベントや会議へ参加し、フードバンクの普及に努めています。
- ⑤ 企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。
- ⑥ 定時制高校生応援プロジェクト始動!

現在の支援状況

2019年4月~7月までに提供した食品

団体: 約**5.8**トン
(のべ90件)

個人: 約**7.3**トン
(のべ917件)

内訳: お米・調味料・パスタ・そうめん・缶詰・菓子・飲料・災害備蓄品など

第21・22回フードドライブにご協力いただきありがとうございました。

長期間に渡り、食品を預かっていただいた受取り窓口の皆さま、そしてたくさんの方のご寄贈くださった皆さま、本当にありがとうございました。県内約100カ所で行っているフードドライブで集まる食品量は、企業からいただく食品の量に匹敵するほどで、フードバンクちばの支援は個人の皆さまの力によるところが大きいことが特徴です。第21回(1~2月)は8.4トン、第22回(5~6月)は4.1トンでした。しかしながら、年度末から新年度にかけて、フードバンクへの支援が急増しており、特に5月は大型連休を挟んだにもかかわらず、支援数は259件に上りました。おかずになるような缶詰やレトルト食品は右から左へ出て行ってしまうので、常に不足の状態が続いています。それでも近隣のフードバンクや生協組合員の皆さまによるフードドライブ等に助けられ、支援を続けることができています。今後

● 今後のフードドライブの予定

第23回フードドライブ **9/17(火)~10/31(木)**

第24回フードドライブ **2020.1/20(月)~2/28(金)**

第25回フードドライブ **5/25(月)~6/30(火)**

も年間3回のフードドライブを予定しております。引き続きのご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

食品ロス削減の推進に関する法律案が成立しました。

2019年5月24日(金)、食べられるのに廃棄される食品を減らすための基本政策を盛り込んだ「食品ロス削減の推進に関する法律案」が参院本会議で可決、成立しました。この法律は、食品ロス削減の意識を高め、食品を活用する仕組み作りが狙いであり、政府には基本方針、自治体には推進計画の策定を求め、ロス削減に取り組む事業者の支援も義務づけています。同法には、特に民間のフードバンク団体の活動を支援するために必要な施策を講ずることが定められ、フードバンクを公的に支援する根拠が初めて法律に明記されています。今後、県や市町村との連携が一層進むよう、働きかけていきたいと思っております。

フードバンクちば7周年イベント「みんなで考えよう、フードバンクちばのこれから」

6月16日(土)、千葉大学西千葉キャンパス内人文社会科学系総合研究棟2階グラジュエイト・ラウンジにて、フードバンクちば7周年イベントを開催しました。今年度は約45名の方にご参加いただきました。第1部では、2018年度の活動報告を行いました。フードバンクちばの食品取扱量は年々拡大しており、2018年度は永谷園をはじめとする企業からの食品寄贈は約28トン。全国フードバンク推進協議会を通じてのコカ・コーラボトラーズジャパンからの定例の余剰食品寄贈のほか、県内企業からの災害備蓄食品の寄贈も増えています。また、地域やご家庭で余っている食品をご提供いただく「フードドライブ」を年3回開催し、年間の寄贈量は35.4トンと企業からの寄贈を上回りました。フードドライブの受付箇所は100か所を超え、社会福祉協議会を中心に県内ほぼ全域での受け取りができるようになっています。食品の提供先としては、児童養護施設や母子生活支援施設等に加え昨年度も約30の子ども食堂運営団体への提供を行っています。一方、個人で困窮する方への支援は、各市の市役所や社会福祉協議会、生活困窮者支援窓口などを通じて、毎日約10～20件の支援をしており、年間で2,581件の支援を行いました。これらフードバンクちばの活動は、約10名の地域のボランティアの方のご協力で成り立っています。また、財政についても市民の方々からの寄付金やサポート会員からの会費、そして助成金で運営しています。しかしながら、昨年度は前年度比で寄付金が約100万円減、助成金も100万円以上減ってしまったことや、宅配便の料金値上げ、また、フードバンク事業を中心的に行ってきた、サポートセンターオアシスの委託事業が無くなってしまったこともあり、事務局体制の維持が厳しくなっています。そのため、2019年4月からは、「フードバンクちば運営検討会議2019」を立ち上げ、県内の関係者(社会福祉協議会、生活困窮者自立支援機関、中核地域生活支援センター、生活協同組合、企業、子ども食堂、研究者など)にご参加いただき、今後のフードバンクちばのあり方について検討を行っています。これらの報告を受けて、第2部では「みんなで考えよう、フードバンクちばのこれから」をテーマにフードバンク茨城理事長の大野寛さんにお話とワークショップをしていただきました。まず、フードバンク茨城での実践の報告をいただいた後、フードバンクで「やりたいこと」「すべきこと」「できること」を整理したうえで、地元企業の方、食品メーカーの社員、子ども食堂やフードバンクを運営する方、これから子ども食堂を始めようとしている方、支援団体、社会福祉協議会、民生児童委員、大学職員、生活協同組合の方々など、6グループに分かれた参加者が、「フードバンクちばが今後2～3年に取り組む天職は何か?」について意見交換を行いました。かなり活発な意見が出て、時間を延長してグループワークを行い、最後は、模造紙にまとめた他グループの意見を全員が見て回りました。第3部では、カレントオブエヌの西垣さんやワーカーズコープの皆さんのご協力で、恒例のフードバンクに寄贈された食品を使った料理の試食&交流会を行いました。



各方面のイベントや会議へ参加し、フードバンクの普及に努めています。

視察・研修・調査等でたくさんの方がフードバンクちばに来所されました。

- 3/20 千葉県協同組合連携協議会 視察
- 4/26 松戸・南澤さん懇談
- 5/13 永谷園視察
- 5/17 コカコーラ・ボトラーズ ジャパン視察
- 6/7 タカヨシ×キッチン園 連携スタート
- 6/17 ヤマトグローバルエクスプレス株式会社 千葉センター来所
- 7/1 トヨタ部品千葉共販来所
- 7/8 グリーンポート・エージェンシー来所 他

研修等の講師でお話ししました。

- 4/23 千葉大学けやき倶楽部
- 5/28 千葉市ことぶき大学地域活動実践講座
- 7/3 千葉大学寄付講座

- 7/9 美浜区倫理法人会モーニングセミナー
- 7/25 千葉県子どもの貧困対策推進計画策定作業部会
- 8/5 千葉ロータリークラブ定例会で報告 他

各種イベントに出展、ご協力いただきました。

- 5/18 「高校生の食、どうする? ミニコンサートとトークの夕べ」
- 8/4 幕張マルシェ(千葉市) 他

メディアで取材されました。

- 5/28,6/14 稲毛新聞取材
- 6/4 朝日新聞取材
- 8/14 日本経済新聞取材 他

千葉県社会福祉協議会発行の「福祉ちば」で特集を組んでいただきました。表紙は玉ねぎの似合う代表とボランティアの方々です。



企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。大切に使用させていただきます。

定期的に株式会社永谷園様・ヤマサ醤油(株)様・コカ・コーラボトラーズジャパン様よりたくさんの食品・調味料・飲料等を寄贈いただいています。株式会社レプコ様よりパスタ(2箱)、東洋アルミニウム株式会社様よりお茶各種(24本:9箱)、株式会社宮田様よりポテトチップス各種(12袋:71箱)・チョコレート(12袋:50箱)・ナッツ各種(65箱)、旭食品東関東支店様よりレトルトカレー他(7箱)、真間山弘法寺様より炒り豆(16kg:7箱)、全農千葉様より玄米(5kg:114袋)、幕張メッセ様よりカロリーメイト(60個:73箱)・防災食カレー(10食:15箱)・アルファ米(50食:12箱)、株式会社ミライト千葉支店様よりアルファ米(50食:3箱)・保存水 2L(6本:12箱)・羊かん(20パック:1箱)、NPO 法人キッズドア様より人参(200袋)、フードバンク埼玉様よりおでん(20袋:5箱)・そば(5kg:100箱)・玉ねぎ(170kg)、横芝光町社会福祉協議会様より焼き海苔(2kg)、株式会社今半様より佃煮各種、コスモ企業株式会社様より冷凍ミートパイ(20個:8箱)、株式会社日経BP 読者サービスセンター様よりクラッカー(10缶:2箱/19缶:1箱)・防災食鮭粥(50食:1箱)、(株)ドコモCS様よりアルファ米(50食:5箱)、全労済様よりビーフカレー(96kg)、東京ガス(株)袖ヶ浦工場様よりアルファ米(50食:22箱)、東洋インキ株式会社様よりアルファ米(50食:5箱)、フードバンクふじのくに様より静岡サイダー(20本:24箱)、株式会社NTTデータ様より防災用缶パン(24缶:3箱)・缶詰各種(9箱)、NPO 法人SB.Heart Station 様より防災食各種(65kg)・保存水 2L(6本:48箱)、和光ファーム株式会社様よりジュース(24缶:21箱)・コーヒー(30缶:10箱)他・マルコメ株式会社様よりインスタント味噌汁各種(3200食)、京成電鉄株式会社様よりアルファ米(50食:14箱)・保存水 1.5L(8本:30箱)、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様よりアルファ米(50食:99箱)、サンルートプラザ東京様より1食ボックス(牛丼/12個:42箱・カレー/12食:42箱)、JR 東日本八王子支社様より防災用缶パン(24缶:25箱)・ライスクッキー(24個:2箱)・保存水 2L(6本:200箱)、一般社団法人日本非常食推進機構様より災害備蓄用FD



全労済千葉推進本部様よりレトルトカレーをご寄贈いただいた時の様子です。

ビスケット(96個:36箱)、MSD 株式会社様よりアルファ米(50食:18箱)・防災用缶パン(24缶:12箱)、株式会社ローソン様よりキャンディ(12個:8箱)、合同会社アンナ様より乾物類(50箱)、株式会社セブン-イレブン・ジャパン様よりほうじ茶オレ(12セット:30箱)、パチンコ VEGA 千葉南店様・株式会社トポスエンタープライズ様よりお菓子を多数いただきました。ご支援ありがとうございました。いただきました飲料水は福島県に配送、JR 東日本八王子支社様には飯館村社会福祉協議会へ直送していただきました。

定時制高校生応援プロジェクト始動!

昨年12月より、フードバンクちばとフードバンクふなばしが地域の相談支援機関(中核地域生活支援センターまるっと、船橋市保健と福祉の総合相談窓口さーくる)や千葉県のスクールソーシャルワーカー(SSW)、市議会議員らと連携して、さまざまな課題を抱えた夜間定時制高校生を支援する取り組みを始めました。活動内容としては、月に2回、高校の最寄り駅前の事務所をお借りして、生徒に食品を提供すると同時に、お茶やお菓子を食べながら交流し、相談にも乗るといものです。卒業を間近に控えた2名の4年生を中心に、学校への納付金のことや卒業後の就職、家族や兄弟についての相談などを行い、無事に卒業することができました。今年度は、新しい生徒も参加し、少しずつ支援の輪を広げていく予定です。

フードバンクちば × 千葉県内生活協同組合

いのちをつなごう
キャンペーン 2019.9/1st ~ 11/30st

一昨年より開始した県内の生協と連携してフードドライブに取り組む「いのちをつなごう」キャンペーンを今年も9月から11月にかけて行います。今年度のキックオフイベントは以下の通りです。詳しくははフードバンクちばまでお問い合わせください。

「フードバンクを活用した地域福祉の取り組みとは?」

2017年9月6日(木)10:00~12:30

会場 ● ホテルプラザ菜の花・中会議室「楨1-2」

千葉市中央区長洲1-8-1

(千葉都市モノレール県庁前駅隣接、JR千葉駅⇒小湊バス千葉県庁前下車徒歩1分)

- 基調講演「絆をつなぎ、無縁社会をつくらないガンバの会の活動」
副田一朗さん(認定NPO生活困窮・ホームレス支援ガンバの会)
- フードバンクの利用団体報告

また、今年度はフードドライブキャンペーンと併せて「フードバンク応援キャンペーン」を行い、フードバンク活動をより多くの人に知っていただくための街頭宣伝&募金活動なども行う予定です。